

お客様各位

平成18年 6月

株式会社 陽進堂

使用上の注意事項改訂のお知らせ

高尿酸血症治療剤

アロプリノール錠100mg「YD」

(アロプリノール錠)

今般、自主改訂により下記の通り使用上の注意事項を変更致しましたので、お知らせ申し上げます。(下線部分が変更箇所です。)

今後のご使用に関しましては、下記内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

記

改訂後	改訂前						
<p>3. 相互作用 併用注意 (併用に注意すること) (1)次の医薬品の代謝または排泄を阻害するとの報告がある。</p> <table border="1" data-bbox="148 1200 772 1865"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>ジダノシン</td><td>健康成人及びHIV患者において、ジダノシンのCmax及びAUCが2倍に上昇したとの報告がある。ジダノシンの投与量に注意すること。なお、ジダノシンの半減期には影響は見られていない。</td><td>本剤がジダノシンの代謝酵素であるキサンチンオキシダーゼを阻害するため、ジダノシンの血中濃度が上昇すると考えられる。</td></tr></tbody></table> <p>(改訂箇所のみ抜粋)</p>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	ジダノシン	健康成人及びHIV患者において、ジダノシンのCmax及びAUCが2倍に上昇したとの報告がある。ジダノシンの投与量に注意すること。なお、ジダノシンの半減期には影響は見られていない。	本剤がジダノシンの代謝酵素であるキサンチンオキシダーゼを阻害するため、ジダノシンの血中濃度が上昇すると考えられる。	<p>3. 相互作用 併用注意 (併用に注意すること) (1)次の医薬品の代謝または排泄を阻害するとの報告がある。</p> <p>該当項目記載無し</p> <p>(改訂箇所のみ抜粋)</p>
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
ジダノシン	健康成人及びHIV患者において、ジダノシンのCmax及びAUCが2倍に上昇したとの報告がある。ジダノシンの投与量に注意すること。なお、ジダノシンの半減期には影響は見られていない。	本剤がジダノシンの代謝酵素であるキサンチンオキシダーゼを阻害するため、ジダノシンの血中濃度が上昇すると考えられる。					

〈改訂理由〉

「相互作用」の項に、HIVに対する抗ウイルス化学療法剤ジダノシンとの併用注意を追記しました。

アロプリノールおよび主代謝物オキシプリノールのキサンチンオキシダーゼ阻害作用により、ジダノシンの代謝が阻害され、ジダノシンの血中濃度が上昇すると考えられています¹⁾。アロプリノールを併用してジダノシンを通常の半量にした場合、通常量投与時とジダノシンの血中濃度は変わらず、同等の効果も得られたとの報告²⁾がありますので、本剤と併用する場合はジダノシンを減量するなど注意が必要です。

〈参考〉

- 1) Ray, A. S., et al. : Antimicrobial Agents and Chemotherapy, 48(4): 1089, 2004
- 2) Boelaert, J. R., et al. : AIDS, 16 : 2221, 2002

DSU No. 150 (2006年6月) 掲載予定

お問い合わせは、担当MR又は弊社営業本部までご連絡ください。

(株)陽進堂 営業本部 黒瀬

TEL 076-465-5181 FAX 076-466-3110

以 上